

日から食べるをみんなで支える取り組み

～チームで取り組んだ経口維持～

第二長上苑

管理栄養士 大谷三千恵



*目的

自分の口で
おいしい食事を
食べたいなー。

多職種によるケア



*取り組みの流れ

①対象者選定



②ミールラウンド



食事の観察を通して気づいた点	はい	いいえ	不明
① 口を開かない 食べ物を認識しても口を開かないことが多い			
② 食事をしながら、寝てしまう(傾眠) 食事の途中で寝る、閉眼する			
③ 食事に関する認知障害や意識障害がある(失認) 食事を摂ろうとしない、食べ物で遊ぶ、他人のものを食べようとする等の認知機能障害がある			
④ 食事に関する注意力が低下している 途中で手が止まる、キョロキョロする、立ち上がる、覚醒状態が保てない方			
⑤ 噛まずに、次から次へと食べ物を運んでいる(実行機能障害) 摂食・嚥下動作がわからなくなり、咀嚼せずに飲み込む、口に食物を詰め込む等			
⑥ 食べ物をいつまでも飲み込まずに、噛んでいる 食べ物と一緒に飲み込んでおり飲み込むことがスムーズにできていない			
⑦ 円背又は座位の保持が困難(まっすぐ座ることができない、前後左右に傾くなど) 自分の力だけでは姿勢が維持できない、クッション等を利用して姿勢を維持している			
⑧ 下顎が上がりがちである 食事時下顎を下げるのが困難			
⑨ 口腔内が乾燥している 唾液分泌が低下している、口腔内の乾燥が著明			
⑩ 口腔内の衛生状態が悪い 義歯不潔、う蝕(虫歯)、歯周病がある、口腔内が汚染されている			
⑪ 噛むことが困難である(歯・入れ歯の状態又は咀嚼能力等に問題がある) 義歯がない、義歯が合っていない、残歯が少くない、咀嚼する力が弱い			

*チェック項目

①口を開かない

食べ物を認識しても口を開かないことが多い

②食事をしながら、寝てしまう(傾眠)

食事の途中で寝る、閉眼する

③食事に関する認知障害や意識障害がある(失認)

食事を摂ろうとしない、食べ物で遊ぶ

④食事に関する注意力が低下している

途中で手が止まる、キョロキョロする

*評価項目

- ・認知機能
- ・覚醒状態
- ・誤嚥
- ・姿勢
- ・口腔内の衛生



*取り組みの流れ

①対象者選定



②ミールラウンド



③カンファレンス



④計画書作成

多職種会議における議決の概要			
会議実施日 平成29年08月01日			
会議参加者			
☐ 医師	☐ 歯科医師	☐ 管理栄養士	☐ 歯科衛生士
☐ 介護士	☐ 介護支援専門員	☐ 言語聴覚士	☐ 作業療法士
☐ 理学療法士	☐ 理学療法士	☐ 理学療法士	☐ 理学療法士
終口による継続的な食事摂取のための支援の観点		1. 食事の形態・とり方、補助食の活用	
		2. 食事の周囲環境	
		3. 食事の介助方法	
		4. 口腔ケアの方法	
		5. 医療又は歯科医療受療の必要性	
算定加算		担当者氏名	気づいた点、アドバイス等
☐ 終口維持加算(Ⅰ)	介護支援専門員	的場真紀	前傾姿勢で義歯も調整中のため注意が必要
☐ 終口維持加算(Ⅱ)及び(Ⅲ)	介護職員	大地隆友	むせていても食べ続ける傾向があるため注意
	介護職員	中川宗盛	前傾姿勢、むせ、認知・注意力低下のため注意
	看護職員	市丸行見	咀嚼・嚥下不良、義歯調整中にて誤嚥のリスク高い
	管理栄養士	大谷三千恵	姿勢、むせこみに注意
食事形態の種類 常食・きざみ食・細みじん食・ <u>めちやみ</u> ミキサー食 与え方の段階 ① 2・3・無			
※とろみ 段階1: 27℃を傾けるととろみ流れ落ちる 2: 37℃を傾けるととろみ流れ落ちる 3: 37℃を傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくい			
初回作成日	平成29年08月01日	初回作成者	大谷三千恵
変更日	年 月 日	変更者	
医師評価・指示			
摂食機能障害(有・無)			
終口維持加算(継続・終了)			

*各専門職からのコメント

担当職種	気付いた点、アドバイス等
介護支援専門員	前傾姿勢で義歯も調整中のため注意が必要
介護職員	むせていても食べ続ける傾向があるため注意
介護職員	前傾姿勢、むせ、認知・注意力低下のため注意
看護職員	咀嚼・嚥下不良、義歯調整中にて誤嚥のリスク高い
管理栄養士	姿勢、むせこみに注意

*取り組みの流れ

①対象者選定

⑤家族連絡

②ミールラウンド

⑥ケア実施

③カンファレンス

④計画書作成

*対象者選定

92歳 女性 上義歯
 認知症高齢者の日常生活自立度 IIIb
 食形態: 全粥210g 副食きざみ食
 食事摂取量: 82%
 体重56.3kg 身長158cm BMI22.6

- ・上義歯ゆるい
- ・口腔内の食物残渣
- ・むせ込みあり

*取り組み内容

・上義歯調整

・食形態検討

・汁物にとろみ0.5杯つける

・麺類は代替えを提供

以前の食形態

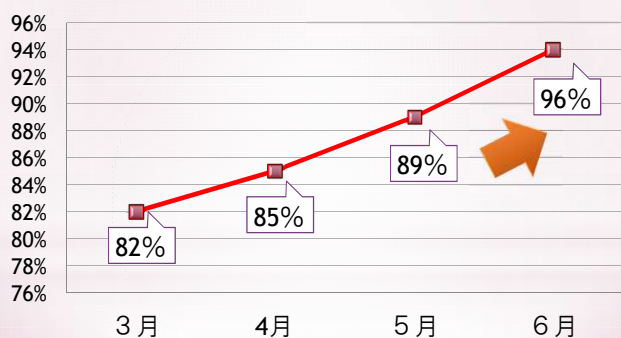
・主菜を一口大にカットする

・小鉢の葉物・かたい物はカット

82%



*副食摂取量



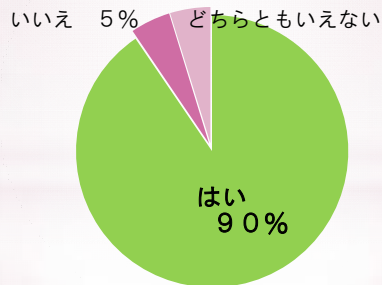
ご家族様もチーム連携の一人

ご本人・ご家族様の意向に沿ったケアが大切



*結果

チームで取り組んで、うまく連携できたと思いますか？

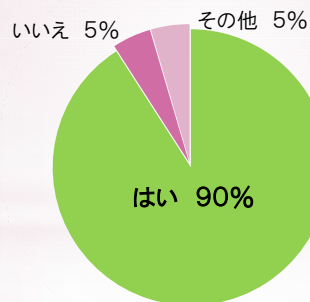


*アンケート結果

- ・ 専門的な意見・視点を交えて連携することができた
- ・ 共通の認識で取り組むことができた
- ・ ユニット職員が連携をとるようになった

*課題

取り組み開始8ヶ月経過し、課題はありますか？



*アンケート結果

- ・ 入居者様の食事に深く関わる事ができる時間の確保
- ・ 専門的な知識の習得
- ・ ミールラウンドの充実



*ご清聴ありがとうございました

